

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	村上信親 富沢文洋
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3519
事務事業名	4213 道路改良事業（単独）						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06033300 橋や道路整備の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費					
	事業	030000 道路改良事業（単独）					
事業目的				事業概要・効果			
<p>市道の整備のうち市単事業で実施するものは補助事業以外の幹線道路と生活道路等小幅員の道路整備であり地域の要望等により必要性や緊急性などを考慮して計画的に整備を図る。また、補助事業採択に向け測量設計を先行しながら、地元合意を形成して行きたい。</p>				<p>市道は幹線道路をはじめ地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たしている。</p>			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市道改良工事、歩道設置整備事業	市道改良工事、歩道設置整備事業
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市道改良工事、歩道設置整備事業	郷原1号線道路改良工事 側溝暗渠新設改良
平成31年度 予定	令和2年度 予定
市道改良工事、歩道設置整備事業	市道改良工事、歩道設置整備事業

指標名						単位	箇所
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	箇所
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	箇所
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		46,762	48,700
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	20,000
一般財源		46,762	28,700
人員数(人)	正規職員	0.8	1.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,720.0	7,865.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,720.0	7,865.0
市民一人当たりの経費		1.0	1.1
総額		52,482.0	56,565.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	10,466	測量・設計委託10,466
15節 工事請負費	34,568	工事費34,568
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,728	用地購入費1,728

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	23,700	測量・設計委託23,700
15節 工事請負費	20,000	市道改良工事費10,000、水路改良工事10,000
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,000	用地購入費5,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	地元的生活道路の安全を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	地元要望が出ていて、緊急性の高い箇所を行う	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	要望が出ている箇所が必要最小限の範囲で事業を行っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元要望が出ており、緊急対応が必要な箇所の事業を行った

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

財源を確保し、生活道路を中心に、必要性・緊急性を考慮し、地域要望に対応していく。また、補助事業と連携し、事業を効率的に進めていく。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

生活道路を中心に、必要性・緊急性を考慮し、地域要望に対応していく必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--